

令和8年第1回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、3月2日(月)に順位1～5を、3月3日(火)に順位6～10を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	11番 坂本 正	1 外山飲料水供給施設について	外山飲料水供給施設から落合地区に飲料水を引く計画について進捗を示せ。
		2 白石地区の水車について	織笠白石地区で水車小屋があり、4年前から水車の車輪が破損している。町から修繕してほしいと思うが、町の考えを示せ。
		3 街路灯について	馬指野口からまさしの橋の間に街路灯がない。子どもたちが学校帰りには暗い夜道を下校している。街路灯を付けてほしいと思うが、検討する予定はないか伺う。
		4 施政方針について	船越家族旅行村について、水辺公園パークゴルフ場の4コース36ホールの整備を着実に進め、同ゴルフ場管理棟、オートキャンプ場サニタリーハウスの整備を国の交付金を申請して採択決定後速やかに工事に着手するよう準備を進めるようであるが、実現までの予定を示せ。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	1 ふるさと納税の戦略的活用について	<p>人口減少や税収減少が続く中、本町でも持続可能な財政運営をしていくためにも、自主財源の確保が重要である。その中で、ふるさと納税は重要な役割を果たしているが、単なる歳入確保にとどまらず、地域産業の振興や将来の税収増につながる戦略的な活用が求められる。</p> <p>本町においても、年間約3億円規模の寄附を受けており、岩手県内でも中位の実績となっているが、県内上位市町と比較すると、さらなる伸びしろがあると考え。そこで伺う。</p> <p>(1) 寄附額・件数の現状と要因分析について</p> <p>直近5年間、本町のふるさと納税の寄附金額及び件数の推移についてどのように分析しているか。特に増加した年度、または減少した年度について、その要因をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 返礼品戦略と地域事業者支援について</p> <p>現在の返礼品の構成と、選定方針はどのようになっているか。返礼品開発において、町内事業者の新規参入や商品開発をどのように支援しているか。今後、付加価値の高い商品や山田町らしさを前面に出した返礼品をどのように強化していく考えか。</p> <p>(3) 寄附金の使途と町民・寄附者への還元について</p> <p>ふるさと納税の寄附金は、これまで主にどの分野に活用されてきたか。町民や寄附者に対して、その活用成果をどのように「見える化」し、伝えているか。今後、重点的に活用していきたい政策分野は何か。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	2 人口減少を前提としたまちづくりについて	<p>本町では少子高齢化と人口減少が進行している。15年後の2040年には約9,000人まで減少すると言われている。人口減少の抑制に取り組むことも重要であるが、これからは人口減少を前提としたうえで、町民の生活の質を維持・向上させ、持続可能な地域社会を構築するための政策転換をしていく必要がある。人口が減っても、町民一人ひとりが安心して暮らし、誇りを持てる町であり続けるようなまちづくりを目指す必要がある。とりわけ重要なのは「教育」、「子育て」、「若者が暮らしたいと思えるまちづくり」の三つの柱であると考えます。</p> <p>子どもが育ち、若者が夢を持ち、子育て世代が安心して暮らせる町でなければ、町の将来は描くことができないと思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 教育環境の維持・充実について</p> <p>少子化が進む中で、学校規模の縮小や統合といった課題が避けられない。少人数だからこそ可能となる、きめ細かな指導や地域と連携した特色ある教育が求められる。今後15年間を見据え、町としてどのように教育環境の質を維持・向上させていくのか。</p> <p>(2) 子育て世代が安心して暮らせる支援体制の構築について</p> <p>子育て支援は、単に出産や保育の支援にとどまらず、仕事と家庭の両立、医療・福祉との連携、地域で子どもを育てる体制づくりまで含めた総合的な取組が必要である。子育て世代が「山田町で子どもを育てたい」と思える町であり続けるために、どのような施策を重点的に進めていくのか。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	2 人口減少を前提としたまちづくりについて (つづき)	(3) 若者が定住したいと思えるまちづくりについて 進学や就職で町を離れた若者が、将来山田町に戻りたい、あるいは住み続けたいと思えるかどうか、町の持続可能性を左右する。そのためには、雇用や住環境だけでなく、地域活動への参加のしやすさ、子育てや生活への安心感など、多角的な支援が必要である。若者の定住・回帰を促進するため、町は今後どのような方向性で施策を展開していくのか。
		3 祭りや郷土芸能を生かしたこれからのまちづくりについて	人口減少を前提としたまちづくりとしていく際に重要なのは「人口の数」ではなく、「人のつながり」や「町への関わり」をどう維持し、広げていくかという視点である。 そのような中で、私は山田町が持つ最大の強みの一つは、山田八幡宮、大杉神社の祭典と郷土芸能と、そこに集う人の力であると考えている。祭りの時期には、山田を離れ、他地域で生活している多くの山田町出身者が帰郷する。「祭りがあるから帰ってくる」、「郷土芸能があるからつながっていただける」という声を、祭りに参加している一員として、私自身も何度も耳にしてきた。郷土芸能は、単なる伝統文化ではなく、人と人を結び、世代を超えて地域の誇りをつないでいく力を持っていると身をもって感じている。 さらに、この2年間、山田中学校の全校生徒が祭りに参加するという全国的にも誇れる取組が行われている。これは、単なる体験学習ではなく、地域文化を次世代に継承する実践的な教育であり、同時に、地域の担い手を育てるまちづくりの取組でもある。 <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	8番 佐々木 慶信	3 祭りや郷土 芸能を生かし たこれからの まちづくりに ついて (つづき)	<p>これらは、人口減少社会においても山田町の活力を支える「基盤」であり、今後ますます重要になると考える。しかし、現在の多くの活動は、地域住民の善意や努力に支えられており、担い手の高齢化や財政的負担が大きな課題となっている。そこで伺う。</p> <p>(1) 人口減少が進む中においても、活気ある山田町を維持していくために、町として、郷土芸能や祭りをどのように位置づけ、まちづくりに生かしていこうとしているのか、基本的な方針を伺う。</p> <p>(2) 現在、町内の郷土芸能団体数はいくつか。そして、この数は10年前と比較してどのように推移しているか。</p> <p>(3) これから各郷土芸能団体の活動に対して補助金制度を設ける考えはあるか。</p> <p>(4) 祭りや郷土芸能の担い手の高齢化や減少が進む中で、祭りを絶やさないために、町としてどのような効果的な支援策を講じていく考えなのか、具体的な施策について伺う。</p> <p>(5) 郷土芸能祭りの開催が再開されることは喜ばしいことである。現段階での具体的な計画を伺う。また、これからは毎年開催する予定か伺う。</p>
3	7番 山崎 忠弘	1 「書かない・ 待たない・回 らない」総合 窓口の導入に ついて	<p>現在、転入・転居、死亡、出生などのライフイベントの際、町民は複数の課を回り、何度も同じ氏名や住所を記入しなければならないという現状があり、大きな負担となっている。国が推進する自治体DXにより、他自治体では「書かない窓口」や「ワンストップ窓口」の導入が進んでいる。当町においても、高齢化が進む中で、町民が迷わず短時間で手続を終えられる環境整備が急務であると考えます。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	7番 山崎 忠弘	1 「書かない・待たない・回らない」総合窓口の導入について (つづき)	そこで、窓口業務における現状と課題、その課題への対応策について伺う。また、私は、この課題の解決策として、町民サービス向上と行政効率化に向けた「書かない・待たない・回らない」総合窓口を導入し、ワンストップサービスを実現することが必要と考えるが、町の考えを伺う。
		2 外国人観光客の受入体制の構築について	<p>現在、わが国を訪れる外国人観光客は、コロナ禍前を上回る勢いで増加しており、その消費額は年間数兆円に達している。しかし、その多くはゴールデンルートと呼ばれる大都市圏に集中し、わが山田町を含む地方部への波及はいまだ限定的と言わざるを得ない。</p> <p>今、本町が直面している人口減少と地域経済の縮小という厳しい現実に向き合うためには、国内客の奪い合いに終始するのではなく、成長を続ける海外市場の活力を「外貨」として取り込む視点が不可欠である。</p> <p>そこで、外国人観光客の受入体制の構築について、現状と課題、その課題を解決するための対応策について伺う。</p>
		3 施政方針について	農林業のところで、「農業の振興については、農業高度環境制御技術（DX）を導入した大規模施設園芸事業者の誘致を積極的に進め、新たな作物の産地化や地元雇用の創出につなげるよう取り組んでまいります」とのことであるが、この事業の具体的な内容について伺う。
4	4番 中屋 佳信	1 施政方針について	<p>町長の施政方針について伺う。</p> <p>(1) 健康について、新規事業として感染症対策のインフルエンザ予防接種の助成対象を全年齢に拡大するとあるが、具体的な説明を伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	4番 中屋 佳信	1 施政方針について (つづき)	<p>(2) 町道整備について、柳沢地区から三陸鉄道リアス線の鉄橋下を通り関谷方面に抜ける、関谷2号線の道路拡幅整備に向けた測量設計着手が示されたことは、地域住民及び利用者の長年の懸案解消に向け、大いに期待するものであるが、整備完了までのスケジュール等について伺う。</p> <p>(3) 下水道事業について、より一層の経営健全化に向けた取組として、使用料の改定を検討するとあるが、改定に向けた今後のプロセスについて伺う。併せて、水道事業についても経営健全化が求められるが、使用料改定の動向について伺う。</p> <p>(4) 水産業について、海や漁村の地域資源を活用し、水産物の消費拡大、地域のにぎわい、所得や雇用の創出を目指す取組として、全国各地の自治体や漁協、民間事業者が創意工夫を凝らして様々な「海業」にチャレンジしている。</p> <p>本町でも、水産業及び関連する産業を元気付け、活性化させる施策が必要であり、これの推進に積極的に取り組むべきと考えるが、施政方針には特に記述が見られない。「海業」への取組について、町の所見を伺う。</p> <p>(5) 船越家族旅行村のパークゴルフ場は、令和8年度も引き続き整備が進められるが、施設のグランドオープンはいつを予定しているのか。また、県大会以上の大会を開催するには、施設管理や運営がスムーズに行くことが重要であるが、愛好者を増やす取組や、パークゴルフ協会の強化など、様々な対応が必要と考えるが、町の対応について伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	4番 中屋 佳信	2 大浦から漣磯に至る町道の整備について	<p>大浦地区の引導場から漣磯海岸に至る町道は、地区住民の生活道のほか、みちのく潮風トレイルのハイカー等町内外の方も利用しているが、長期にわたり道路沿いの草刈や立木等の剪定や伐採が行われておらず、これらの繁茂による見通しの悪さや、落葉の堆積による道幅の減少や側溝への脱輪のおそれなど、交通事故につながりかねない箇所が見受けられる。</p> <p>利用者の安全確保のため、町道及び沿線の整備が必要と思うが、町の対応について伺う。</p>
5	9番 関 清貴	1 施政方針について	<p>(1) 福祉について</p> <p>町民の居場所を創出することで、重層的支援体制の一層の充実を図ることであるが、特に外出の機会の少ない高齢者について具体的にどのような施策を考えているのか。</p> <p>(2) 住環境について</p> <p>都市公園について、船越公園のさらなる魅力向上とにぎわいの創出を図るため、木製アスレチック遊具の整備を計画的に進めるとのことであるが、他の地区の公園への整備を検討する予定はないか。</p> <p>(3) 上下水道について</p> <p>下水道の使用料の改定を検討することであるが、改定時期はいつ頃を予定しているか。また、経費節減等自己努力を図った上で検討を進めるのか。</p> <p>(4) 環境保全について</p> <p>環境美化において新たな活動団体の創出・育成はどのような形で進めるのか。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	9番 関 清貴	1 施政方針について (つづき)	<p>(5) 防災について 避難所の環境改善を図るとのことであるが、旧山田北小学校に避難した際に暗くて大変だったということを知った。町内避難所及び周辺の避難路は明るくかつ安全に避難できる環境となっているか。</p> <p>(6) 水産業について 「岩手三陸やまだオランダ島サーモン」の養殖規模拡大の支援はどのような内容か具体的に示せ。</p> <p>(7) 農林業について 国の「クマ被害対策パッケージ」と連動した対策を検討するとのことであるが、具体的にどのような対策か伺う。</p> <p>(8) 生涯学習について 町民総合運動公園の給水施設の改善と施設利用者の利便性向上を図るため、水道施設改修工事を着実に進めるとのことであるが、利用者が望んでいることは水道施設の改修だけなのか。クラブハウスのトイレの改修等、施設の整備も進めてほしいという利用者の要望もあるが把握しているのか伺う。</p>
		2 旧山田小学校の活用について	中央コミュニティセンター、保健センターまで歩いて行けない飯岡地区の高齢者住民等のための健康サークル、その他近隣住民がレスリング、卓球等に気軽に利用できる施設として旧山田小学校の教室を活用できないか伺う。
6	10番 佐藤 克典	1 豊間根地区公共施設の跡地について	<p>地域住民待望の支所機能を備えた「豊間根交流センター」の供用開始が本年1月になされた。今後、各種会議や様々な催しに利用され、より一層、相互間の交流、地域コミュニティの醸成が図られるものと期待しているところである。</p> <p>(次のページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	10番 佐藤 克典	1 豊間根地区 公共施設の跡 地について (つづき)	一方、昭和49年に建設され半世紀の間、地域に慣れ親しまれ利用されてきた(旧)豊間根生活改善センターはその役目を終えた。このことにより同施設は近い将来、解体されるものと思っているが解体処理後の跡地利用、また、現在、解体工事を進めている(旧)健康増進センターの跡地について、どのように利用計画を考えているのか伺う。
		2 山田北インターについて	山田北インターフル化工事については、一昨年10月6日の起工式以降、粛々と工事が進められている。アクセス道となる町道八千代・白山線の改良工事においても第1期工事が完了し、現在、第2期工事が実施されているところである。 フルインターへの一日も早い供用開始は地域住民の切なる願いである。起工式から1年4か月経過し、三陸国道事務所サイドでは完成までの青写真は描いているものと思うが、町に対してその情報はあるのか伺う。
		3 施政方針について	(1) 農業の振興について、農業高度環境制御技術(DX)を導入した大規模施設園芸事業者の誘致を積極的に進め、新たな産地化や地元雇用の創出につながるよう取り組むとのことだが、農業高度環境制御技術(DX)の内容、また、想定している事業者、規模、取り組む作物について伺う。 (2) 山田町まるごと道の駅構想の実現に向けて官民で新たに立ち上げる実行委員会と緊密に連携し、交流人口の拡大と産業振興を大きく前進させる一年としたいとのことだが、実行委員会の構成員、また、どのような催し等を想定しているのか伺う。 (次のページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	10番 佐藤 克典	3 施政方針について (つづき)	<p>(3) 地域おこし協力隊については、三陸ジオパークの推進や郷土芸能の保存、健康づくりの促進などの活動を継続して取り組むとのことだが、現時点での地域おこし協力隊の人数、具体的な活動・業務について伺う。</p> <p>また、新たに導入した「個人委託型」の隊員を漁業や農業分野に配置するなど地域課題の解決と産業活性化に向けた体制を強化するとのことだが漁業、農業それぞれにおいて専門知識を有する隊員を配置するのか伺う。</p> <p>(4) 県立山田高等学校への給食について、一日も早い提供開始を目指して具体的に準備を進めるとのことだが、給食費については町内小中学校同様の無償化を想定しているのか伺う。</p> <p>(5) 地域コミュニティの推進については、これまで被災地区を中心に行ってきた自治組織への支援を8年度からは全町へと拡大するとのことだが、住民協働推進事業補助金が全てにおいて補助率が10割ということか。</p>
7	5番 昆 清	1 施政方針について	<p>(1) 旧県立山田病院について解体工事に着手するとのことであるが、いつから着手するのか。また跡地利用についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 漁業の担い手対策について新たに「雇用型漁業経営体創出モデル事業」を実施するとのことであるが、その事業内容について詳しく説明せよ。</p>
		2 町道への側溝整備について	<p>令和7年第2回定例会において質問した箇所であるが、再度質問する。町道織笠・外山線において、いまだ側溝に蓋が設置されていない区間があることや、また、排水機能の不足により雨水が田畑にあふれ出て支障を来していることから、側溝整備を伴う道路改良を行う必要があると考えるが、当局の考えを伺う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	5番 昆 清	3 街路灯の設置について	<p>(1) 豊間根地区の住民から、木村商店前のバス停2か所と付近の横断歩道等に街路灯がないため、冬季の夜間は暗く、通学の子どもたちが不便を来しているとの声があった。そこで、当局の対応について伺う。</p> <p>(2) 同様に、織笠地区の住民から、織笠大橋からコンビニエンスストアの間に街路灯がなく、冬季の夜間は暗くて歩行が困難であり、また防犯対策としても街路灯を増やしてほしいとの声があった。そこで、当局の対応について伺う。</p>
8	1番 木村 洋子	1 施政方針について	<p>防災について、避難所の「暑さ対策」という課題に対応するため、閉校学校を活用した避難所への空調設備整備を着実に進め、避難環境の改善を図っていくとのことであるが、閉校学校とはどこになるのか。</p>
		2 教育行政に関する所信について	<p>(1) 不登校対策について 学校や保護者はもとより、地域や関係機関との連携を密にした取組を進めていくとのことであるが、関係機関との連携とはどのようなことか。また、保護者への支援はどのように考えているか。</p> <p>(2) 町民総合運動公園について 水道施設改修工事の進捗状況はどのようなになっているか。</p>
		3 国民健康保険の子どもの均等割の免除について	<p>国民健康保険税の子どもの均等割については、子育て支援に逆行しているので、なくすように繰り返し要望してきたところであるが、国より、令和8年4月から子どもの均等割の10割軽減が打ち出された。</p> <p>その詳しい内容と財源、また、国民健康保険加入者への影響はどのようなになるのかを問う。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	1 番 木村 洋子	4 公共施設の エレベーター について	当町の公共施設である中央公民館、中央コミュニティセンター、保健センターには、エレベーターが設置されていないため、足の不自由な高齢者等は、2階でイベント等があっても移動が大変なため参加を諦めざるを得ない。車椅子の移動でもエレベーターがあれば、2階で行われる各種イベントにも参加ができるため、ひきこもりの予防にもなる。また、学校にもエレベーター設置が望ましいと考えるが、町としてどのように考えているのかを問う。
		5 豊間根地区 の公園整備に ついて	以前より、豊間根地区には公園が少ない。子どもを遊ばせる場所を増やしてほしいとの保護者の声がある。廃校となった旧豊間根中学校の校庭に公園を造ってほしいと一般質問にも取り上げてきたところである。旧豊間根中学校は公園整備の適地であると思うが、体育館は災害時の避難所ともなるため駐車スペースの確保が優先されるのではとも考える。 そうであれば、ふだんは公園として、災害時等は駐車場として利用できるように設計してほしいが、町としての考えは。
		6 水産業につ いて	(1) 漁業を廃業し、船を手放したいというケースが出ているようだが、新しい担い手に効率よく使わなくなった船を引き渡せるよう町として支援できないか。 (2) 以前にも質問したが、不漁と物価高騰のため収入減となり事業が窮地に陥っている漁家に対し、事業継続の後押しとなるような支援が必要と考えるが、町の対応は。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	6番 豊間根 信	1 豊間根交流センター・支所周辺の整備について	<p>待望の豊間根交流センター・支所が完成し、地域住民の皆様の新たな交流拠点として利用され、大変喜ばれている。誰もが愛着を持って利用できる場所となるよう願っている。</p> <p>そこで12分団屯所の移転建設やセンター周辺の道路の整備等、今後の整備計画について伺う。</p>
		2 山田北インター工事について	<p>山田北インターのフル化工事については、担当課は最大限の尽力をされていると理解している。これまでも何度か質問してきたが、現在の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。</p>
10	12番 横田 龍寿	1 防災・国土強靱化の推進について	<p>震災被災自治体である本町において、防災・減災対策は最優先課題である。町が管理する道路や河川の改修等、防災インフラ整備を単年度事業ではなく中長期の重点施策として位置づけ、計画的投資を進める必要があると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 防災インフラ整備について、町ではどのように位置づけられているか。また、計画的に推進する考えはあるか。</p> <p>(2) 道路及び河川改修を対象とした国の国土強靱化関連交付金の活用状況と、今後の見通しはどうか。</p>
		2 「山田の学び」について	<p>「山田の学び」の4つのプロジェクトの中には、それぞれの地域が持つ魅力について体験しながら学び、郷土愛を醸成するメニューがあるが、山田中学校生徒による山田祭りへの参加以外は、学習活動の実態が見えてこない。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 山田祭り以外の地域学習についての取組を詳細に示せ。</p> <p>(2) 現在の取組について、今後は広げていくのか縮小するのか考えを示せ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	12番 横田 龍寿	3 教育DXと 学習向上対策 について	<p>タブレット端末整備の成果を学習向上へ結びつけるため、児童生徒の学習（習熟度）データ分析やAI教材の活用による個別最適な学びの実現が求められると考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 学習データ分析を活用した学力向上施策を導入する考えはあるか。</p> <p>(2) AI教材やオンライン学習の積極的に活用していく考えはあるか。</p>